

イネカメムシ ペーパークラフト

(ひとりで作れるめやす：中学生から)

「イネカメムシ」は、水田でイネの「もみ」からしるをすう害虫です。

イネカメムシがもみからしるを吸うと、お米がみのらなくなったり、

黒くよごれた「^{はんでんまい}斑点米」という米になったりします。このような

害を出すカメムシを、「^{はんでんまい}斑点米カメムシ」と呼んでいます。

※イネカメムシのほかにも、いろんな斑点米カメムシがいるよ。調べてみよう。



イネカメムシによる
斑点米



ペーパークラフトを作る準備



・必要な道具：はさみ、カッター、セロハンテープ、工作用ボンド、

つまようじ（せまいところにボンドをぬる時に使用）

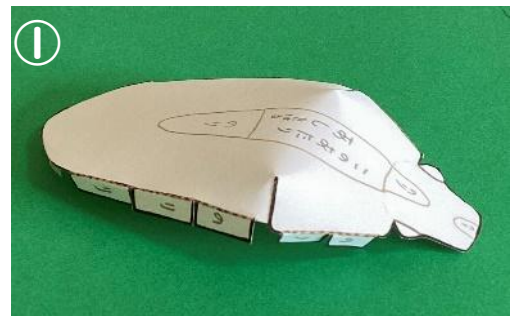
・ふつうのコピー用紙より厚くてじょうぶな、ペーパークラフト用の紙に印刷します。
なければ、コピー用紙に印刷して画用紙にはってでもいいです。

準備ができたならさっそく始めよう！（写真をよく見て作ろう）

「①腹側」のパーツを切り出します。

左右の肩の^{かた}切りこみにあるのりしろ（灰色）がかくれるように山なりに曲げ、ボンドではります。のりしろが^{せま}狭いので、裏からテープを貼って補強するとよいです。

①の周囲ののりしろを山折りします（写真）。



「②頭部」のパーツを切り出します。

頭部の左右を、写真のように軽く山折りしておきます。
口の部分ののりしろを根元から山折りします。



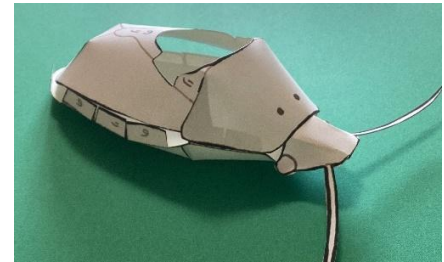
①と②を外側が表になるよう合わせ、②ののりしろ^{はし}で①の端をはさむようにはります。

①と②の眼をぴったり重ね、眼の部分だけを指でつまんでおさえながら、はり合わせます。

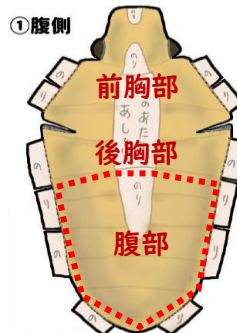


「③背側」のパーツを切り出します。

③の下の方と左右の肩の切り込みを、のりしろ（灰色）が
かくれるように山なりに曲げながら写真のようにはります。
のりしろが狭いので、裏からテープで補強します。



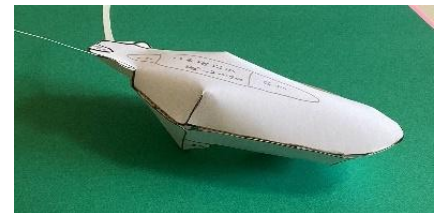
①の前胸部ののりしろを、③の前胸部
と貼り合わせます。次に、①の後胸部
から腹部側面ののりしろ（一番下以外
の3組）も同様に、③とはり合わせます。



（腹部の、一番下ののりしろはまだはりません。）

両側ののりしろに、いっぺんにのりを付けないで、片側
ずつはっていきましょう。

背中の中から指を入れて、内側からのりしろをおさえな
がらはるとよいです。



「④小楯板」のパーツを切り出します。

④小楯板の前方の丸い部分を、③の切りぬいた穴の上辺に差しこんで
から、④の左右の出っ張りを③の穴の左右内側に差しこみます。④を
あらかじめ右の写真のようにカーブさせてから取り付けましょう。



のりしろの位置と合うように④を③にしっかり差しこんだら、
④の後方と③をのり付けします。次に、④の左右の角が浮かな
いようにのり付けします。のりをぬりにくいので、つまようじ
を使ってのり付けしましょう。

体がへこんでしまった場合は、腹部の後端（おしり）から細長
い物を差しこんで内側から整えます。

③の腹部の一番下ののりしろをはり合わせます。



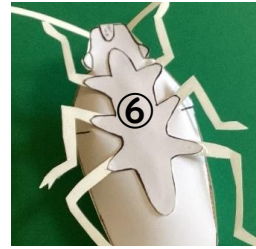
「⑤脚」のパーツを切り出します。

⑤脚を腹側にはります。背中側から見た時に、脚の色
が付いた面が見えるようにはり付けます。



「⑥胸部腹側」のパーツを切り出します。

⑥胸部腹側のパーツを、脚の上から写真のように
はります。



「⑦口器」のパーツを切り出します。

⑦口器パーツの横長の部分を山折りして、ストロー状にします。
灰色の部分の紙が重なってかくれるように、テープではります。



⑦の山・谷折り部分を一度折り目をつけてもどします。
細い部分（口針）の付け根を山折りし、ストロー状の鞘（さや）の中に
口針の先が入るようにします（下の写真）。

写真のように、口器を曲げて鞘から口針を出したり、
口器をのばして口針を引っこめることができます。



左：口器をのばして口針をしまった状態
右：口器を曲げて口針を出した状態

⑦の薄茶色部分の裏側を、①の先端にのり付けします。
（②の折り返した部分がちょうどかくれます。）

⑦口器の先がうかないよう、セロハンテープを裏巻きにした
ものを①にはり、⑦口器の先を軽くとめます。



あし しょっかく

脚や触角の角度を整えてできあがり！

